

1年元気に過ごせますように

武家屋敷で七草の会

1月7日、武家屋敷で「七草の会」が開催されました。この催しは、地域の伝統を継承しようと開催されている新年の恒例行事で、ヘルスメイト白石の皆さんが調理を担当。セリやナズナなどの七草を、「七草のうた」を口ずさみながら調理していました。調理した七草粥約150食は来場者が試食。来場者たちは「剣道で優勝できるようにお願いしながら食べました」「1年間健康に過ごせるようにと思いながらいただきました」と話してくれました。白石の七草粥は、焼いた餅を入れることと、シンプルな塩味などが特徴です。



▲振る舞われた七草粥を試食する来場者たち

おじいちゃんと一緒にぺったん！

第二幼稚園で餅つき会

12月15日、第二幼稚園で一足早い餅つき会を行いました。この行事は、昔ながらの杵と臼を使った餅つきを園児に体験してもらおうと毎年開催。今回で28回目となるこの会に、園児や保護者約100人のほか、南町長寿会のおじいちゃんやおばあちゃん7人の協力も得て、園児たちと楽しそうに杵を持って代わる代わる餅をついていました。つき上がった餅は、先生やお母さん方のおいしいそうなきご餅やあんこ餅、お雑煮になり、みんなで楽しく会食しました。園児は「自分でついたお餅もとってもおいしいです」と笑顔で答えてくれました。



▲南町長寿会の皆さんと一緒に元気に餅をつく園児たち

みんなが幸せになりますように

北保育園で団子さし

1月12日、小正月の伝統行事「団子さし」が北保育園で行われ、同園の3～5歳児クラス31人が参加しました。同園では、毎年恒例となったこの行事に、今年も地元の沖自治会の皆さんが参加。餅つきや団子さしのお手伝いをしました。赤や緑、黄色に色づけしたつきたての餅と、七福神をかたどった飾りなどを、高さ約3mのミズキの木に飾り付けました。

参加した園児たちは「かぜをひきませんように」「みんながしあわせになりますように」と、願いを込めながら真剣に飾っていました。



▲真剣な表情でミズキの木に団子を飾り付ける園児たち

真剣な思いと伝統を引き継ぐ

団七踊り引き継ぎ式

12月19日、大鷹沢小学校で団七踊りの引き継ぎ式が行われました。団七踊りは、江戸時代（1640年）に起こったあだ討ちを踊りで表現したもので、全国的には歌舞伎や浄瑠璃の演目として有名。あだ討ちの発端となったのが大鷹沢地区のため、同校では、地域の歴史と伝統芸能を守ろうと、昭和60年から団七踊りの伝承活動に取り組んでいます。この日は、卒業する6年生22人が、4・5年生に鎖がまなどの小道具や衣装を渡しました。4年生の代表は「真剣な踊りなので大切に引き継いでいきます」と引き締まった表情で決意を話していました。



▲6年生の前で団七踊りを披露する4・5年生の児童たち

「いじめゼロ」小中学生が宣言！

第1回白石市いじめ防止大会

12月19日、教育委員会と校長会主催で「第1回白石市いじめ防止大会」を開催しました。市内小中学校16校から代表の児童・生徒や関係者など約80人が出席。発表では「毎月全校生徒にいじめアンケートを実施している」など4校の代表が各校のいじめ防止の取り組みを説明し、質疑応答を行いました。その後、「相手の気持ちを考えた行動、発言をします」「正しい知識を身に付け、正しくインターネットやスマートフォンを使います」など5項目の「いじめゼロ宣言」を採択。来年から7月と12月をいじめ防止月間として取り組みを強化していきます。



▲最後に「いじめゼロ宣言」を力強く発表する児童・生徒たち

元気になってください

刈田病院で第51回ロビーコンサート

1月18日、公立刈田総合病院で「第51回ロビーコンサート」が開催されました。この催しは年に数回開催。今回は、白石高等学校箏曲部が患者やその家族など約30人の前で、「花は咲く」や「明日があるさ」など5曲を演奏しました。観客の中には、演奏に合わせて歌詞を口ずさむ人も。琴の美しい音色で心と時間を過ごしていました。同校箏曲部の齋野真央部長は「昨年とは違い、演奏だけではなく歌うことも取り入れました。部員たちで相談して選曲し、聞いている人にも楽しく元気になるってほしいという思いで演奏しました」と話してくれました。



▲美しい琴の音色に聞き入る観客たち

子どもたちの笑顔のために

市内8保育園にクリスマスプレゼント

12月21日、NECプラットフォームズ株式会社白石事業所の小菅信成事業所長が、市内8カ所の保育園にボールやバイクのおもちゃなどのクリスマスプレゼントを届けに、南保育園を訪れました。同社は地域貢献活動の一環として、平成19年から毎年、従業員やその家族が集めたアルミ缶の売買取益などを活用し、市内の保育園にクリスマスプレゼントを贈り続けています。贈呈式では、小菅事業所長から園児の代表におもちゃが手渡され、受け取った園児は「すてきなプレゼントをありがとうございます」と笑顔で輝かせてお礼を述べていました。



▲小菅事業所長からプレゼントを受け取る園児たち

オリンピック選手を間近に

田中琴乃さんの新体操教室を開催



12月23日、ホワイトキューブで独立行政法人日本スポーツ振興センター（JSC）の主催で、SPORTS JAPAN アンバサダーの一人で、北京オリンピック、ロンドンオリンピックで新体操競技に出場した田中琴乃さんの新体操教室が開催されました。本市では、今年度JSCのスポーツ振興くじtotoによる助成事業でホワイトキューブに新体操競技用マットを整備。これを記念したこの日の教室には、保育園児から高校生までキューブの新体操教室に通う生徒39人が参加しました。参加した生徒たちは、田中さんの指導に真剣に耳を傾けていました。



▲整備した新体操用マットで生徒たちを熱心に指導する田中さん